

浅間山大噴火から240年・「天明三年」を語り継ぐ

令和5年

6/16(金) ▶ 8/27(日)

天明泥流とともに伊勢崎藩最大の危機が迫る

伊勢崎藩を救え！

天明3年浅間山大噴火

令和5年度伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館企画展

協力：公益財団法人相川考古館

入館無料

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

〒379-2204 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98番地

☎0270-63-0030 FAX0270-63-0087

会場 伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館1階ホール

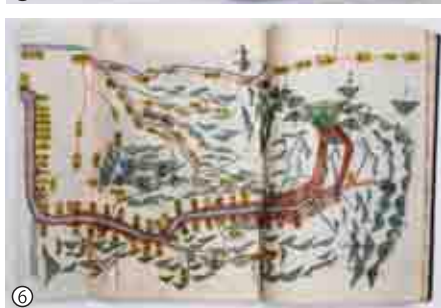
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(7/17(月))は開館、7/18(火)休館

伊勢崎藩を救え！天明3年浅間山大噴火

群馬県と長野県境に位置する浅間山は、これまでに幾度となく大規模な噴火を繰り返し、最も大きな被害となったのが天明三年（一七八三）の大噴火です。この災害は「天明の浅間焼け」とも呼ばれ、噴火とともに大規模な土石なだれを引き起こして吾妻川から利根川沿岸の村々を泥流が埋め尽くし、一五〇〇人を超える人命が失われました。

本企画展では、天明三年の浅間山噴火から泥流被害、そして二次災害によって事態が深刻化する中、想像を超える災害に直面した伊勢崎藩がどのように対応したのか、絵図や古文書、発掘調査成果から危機を乗り越えることができた伊勢崎藩と人々のすがたに迫ります。そして、この大災害から二四〇年を経て同じ場所で生きる現代の私たちが、災害の記憶を継承する機会にしたいと考えます。



①関重嶽肖像（伊勢崎市図書館蔵）②圓満寺過去帳（福壽院蔵）③浅間焼吾妻川利根川泥押絵図（群馬県立歴史博物館蔵）④沙降記（公益財団法人相川考古館蔵）⑤浅間震災日記（伊勢崎市図書館蔵）⑥享和以来見聞記附録雑集（伊勢崎市指定重要文化財・個人蔵）⑦東上之宮村泥入絵図（個人蔵）⑧浅間吹出村里之絵図細見（飯島政樹氏蔵）

関連事業 歴史文化講座

- 第1回 6月25日(日) 「伊勢崎藩の善政と浅間山大噴火」
県立高崎女子高等学校教諭 栗原 佳さん
- 第2回 7月9日(日) 「絵図からみた天明浅間山噴火被害の全体像」
嬭恋郷土資料館長 関 俊明さん
- 第3回 7月23日(日) 「関重嶽『砂降記』を読む」
公益財団法人相川考古館学芸員 相川 裕保さん
- 第4回 8月6日(日) 「発掘調査から見た伊勢崎の泥流被害」
伊勢崎市市史編さん係長 勢藤 力さん

時間：13：30～15：00 会場：赤堀公民館1階ホール(赤堀歴史民俗資料館西側)
定員：各回50名(先着順) 申し込み：6月9日(金)から電話予約受付



交通のご案内

- 北関東自動車道伊勢崎ICから車で約15分
- JR国定駅からタクシーで約10分
- いせさきしコミュニティバス
 - ・赤堀シャトルバス JR伊勢崎駅南口発 赤堀支所前下車 徒歩5分
 - ・波志江・赤堀・あずま連絡バス JR国定駅南口発 赤堀支所前下車 徒歩5分

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

〒379-2204 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98番地
☎0270-63-0030 FAX0270-63-0087
Mail:siryokan@city.isesaki.lg.jp

